

外務大臣賞受賞の言葉



外務大臣賞の福井春菜さん

この度「国際問題プレゼンテーション・コンテスト」にて外務大臣賞を頂きました。テーマは、広報や文化交流を通じて外国国民の日本に対する好感度や理解度を高める広報文化外交をどのように展開すべきかでした。国家間の衝突を避け交渉を円滑化させるための外交であるため、長期的に両国に有益な施策であることが重要であると考えました。そこでアフリカ諸国からの国費高校生留学生受け入れ制度の新設を提案いたしました。近年人口増加を追い風に経済が拡大しているアフリカ諸国に世界各国がさまざまなアプローチをし、関係構築を模索しています。私は日本の教育システムの質を活かし、人材育成の面において日アフリカ間のさらなる良好な外交関係を構築できるのではないかと考えました。今回このような機会を頂き、多くの方々の前で発表し評価を頂いたことを大変嬉しく思います。今後も世界情勢や社会問題に対して自らの視点に立ち、関心を持ち続けていきたいと思っています。



プレゼンテーションの様子（テーマ：私の提言～日本の広報文化外交：日本をよりよく知ってもらうために）

平成30年度外務大臣賞受賞者が決定！ 「国際問題プレゼンテーション・コンテスト」 が日本橋社会教育会館で開催されました



受賞者との記念撮影（於：日本橋社会教育会館ホール）

2018年9月22日（土）日本橋社会教育会館にて、外務省主催による「国際問題プレゼンテーション・コンテスト」が開催されました。本年度は、「私の提言～日本の広報文化外交：日本をよりよく知ってもらうために」をテーマとして設定し、全国各地から応募があった事前審査論文の選考を経て本選出場権を得た5名によって、さまざまな観点からのプレゼンテーションが披露されました。

コンテストの結果、^{ふくいほるな}福井春菜さん（聖心女子大学文学部）が外務大臣賞の栄誉に輝いたほか、^{てらたあいな}寺田愛奈さん（横浜市立大学国際総合科学部）、^{さいまあかね}財満 茜さん（早稲田大学国際教養学部）、^{わたなべしほんや}渡部準也さん（東京医科歯科大学歯学部）、^{てらただい}寺田 大さん（明治大学農学部）の4名が優秀賞を受賞しました。

プレゼンテーションの審査には、渡辺靖審査委員長（慶應義塾大学環境情報学部教授）をはじめ、小川忠審査委員（跡見学園女子大学文学部教授）、白原由起子審査委員（根津美術館学芸部特別学芸員）があたり、鋭い質問を投げかける一方で、登壇者の甲乙つけがたい優れた考察力、提案力、表現力等に期待を寄せていました。

コンテストの後、全出場者、全審査委員および歴代入賞者の同窓会組織（FRU）との間で交流会も行われ、賑やかで貴重な意見交換の場になりました。